

# 虹ヶ丘新聞

第62号

## ホームのようなまち まちのようなホーム

発行/社会福祉法人与謝郡福祉会  
高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘  
編集責任者/石本 晃一  
住所: 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600番地3  
TEL: 0772-43-2011  
E-Mail: nijigaoka@yofuku.or.jp  
URL: http://yofuku.or.jp/nijigaoka/

### 『あわしま祭り大盛況でした』



7月15日、石川区神宮寺で昔からある「あわしま祭り」が、神宮寺境内と下地公民館駐車場を

会場に今年も盛大に行われました。

古くからの習わし通りに、あわしま堂や神宮寺の観音様を参拝されるご家族連れや、友達同士で参拝される子供たちも多く、40食準備していたふるまいの石川うどんが完売するくらいたくさん参拝客がありました。

地域の青年団さんのご尽力により、年々模擬店が賑やかとなり、下地公民館の駐車場では、地域の青年団さんと夢織りの郷の食べ物やゲームの模擬店などが軒を並べ、神宮寺境内では、神宮寺の模擬店の他に、虹ヶ丘デイサービスとわんぱくクラブさんのゲームや、あわしまサロンと虹ヶ丘職員有志によるハンドクラフトの物品販売の模擬店が開かれ、どちらも子供たちを中心に、客足が途絶えることなく大賑わいでした。

今年は大変暑い中でしたが、無事に祭りが終わって良かったです。(神宮寺)



### 特養の流しそうめん

8月1日、特養でそうめん流しをしました。最高気温38度、たいへん暑い中での開催となりましたが、そうめんの他に、カットスイカやミニトマト、サクランボなども用意し、多くのご利用者



用者が参加されました。食後の直後でしたが、皆様楽しんでおられたようで、お椀に目一杯よそって召し上がられる方や、流れてきたそうめんに、我先にと箸を伸ばす方、来られるのが遅くなり下の方しか空いていなく、そうめんを今か今かと心待ちにされている方など、皆様それぞれに大いに楽しまれていました。

昼食の後でしたが、多くの皆様がそうめん流しを楽しんで、涼を感じておられました。



普段食が細かい方も「これなら食えるな」とご満悦でした。食欲が落ちる時期です。こうした催しを通して、暑い夏を乗り切っていたきたいです。(特養)

### 市場保育所との交流会



毎年恒例になっている保育所とのふれあいレクリエーション。今年市場保育所の皆様から、歌や踊りを披露して下さいました。

ご利用者と一緒に体操をされました。手を合わせた頭を撫であたり、皆さんとても喜んで下さいました。職員との関わりでは見られないような笑顔で、子供たちのパワーの凄さを感じました。ふれあいが終わった後は、園児から手作りのメダルをプレゼントして下さいました。一緒に体操をした園児から首にかけてもらわれニコニコと喜んでおられました。子どもたちとふれあう事で皆さん、元気をいっぱい分けてもらえたようでした。これからも保育所との交流を計画して、楽しんでいただきたいと思います。(ショートステイ)

「ご利用者の特技を活かして」

今年の夏は「酷暑」とも言われているように、連日30℃越えをする暑い日が続いておりますが、暑さに負けずデイサービスでは、ご利用者の持ち前の器用さや特技を生かして様々な作品づくりに取り組んでいます。今回は、その一部をご紹介します。



編み物が得意なご利用者は本を見ながら、毛糸とかがぎ針を使ってクマやソウなどの「ぬいぐるみ」を作られました。

和裁や裁縫が得意なご利用者は、ちりめんや帯のはぎれを利用して、巾着袋や人形を作成されました。また、編み物や和裁などの細かい作業が苦手な方でも、紙をちぎったり、貼ったり、色を塗ったりすることが得意なご利用者もたくさんおられます。そういったそれぞれが得意な事を生かした作品作りも行っています。

毎月作成する壁画がそうです。今回の壁画のテーマは「夏」。夏と言えば「ハイビスカス」「青い海」「こはこんなんしたらどう?」とアイデアを

出される方や、おはな紙でハイビスカスを作る方、折り紙をちぎって貼り海や雲を作る方など、ご利用者で分擔しながら大きな壁画が完成しました。このようにデイサービスでは、皆様にご協力していただいた作品がどんどん増え、とても賑やかになっています。



(デイ)

支援センター家族会



支援センターでは毎年、在宅で介護されているご家族の皆様を対象に家族会を開催しています。今年度、第一回は7月11日に6名のご家族の皆様に参加をいただきました。

今回は、虹ヶ丘の特養、ショートステイ、デイサービスなど、6つの事業の説明と施設見学をまず行いました。普段は「行ってらっしゃい」と見送

る側のご家族が、参観日ながらにデイサービス利用中のご利用者の所足を止められ、微笑ましいひとときを過ごしていただけたように思います。

見学の後はご家族の交流会。普段の介護の中での疑問や悩みなど、今回初めて参加されたご家族に、先輩介護者さんからのアドバイスをいただき、和気あいあいとした雰囲気の中で家族会の幕を閉じました。



(支援)

ユニット調理再開への第一歩

以前よりユニット調理をしていましたが、今年の1月中旬より職員体制の都合で厨房での中央調理に切り替えて食事提供をしていました。中央調理になってから、改めてユニット調理の良さを実感し、少しでも早くご利用者に近い場所で調理ができるようにと厨房一回努めてきました。

そしてやっとこの7月からデイサービスだけではありますが、ユニット調理を再開させることができました。ご利用者に近い場所で調理することで調理中の音や匂いを感じていただき、食欲増進に繋がる事もあります。またご利用者のその日の状態に応じた食事対応ができることもユニット調理の良いところです。そしてなにより職員が一番の喜びは「美味しかったよ。」と直接声をかけていただけたことです。他のユニットでも再開ができるよう今後も頑張っていきたいと思います。



(厨房)

今後の予定について

- ◎ 酷暑の中、涼やかなスポット事業に虹ヶ丘も登録しました。暑いとき、是非施設の方へお立ち寄り下さい。
- ◎ 例年、8月に開催していた夏まつりを、今年は10月6日に行います。現在準備中ですので、楽しみにお待ち下さい。